

## 10. 逆走对策





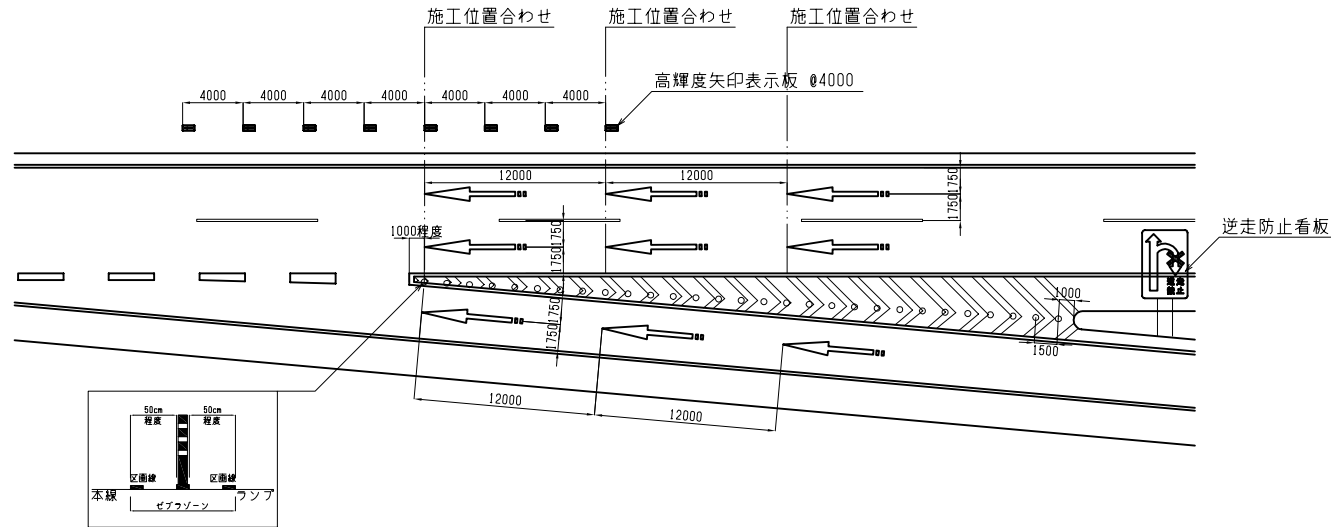


高規格 幹線道路	図面記号 名称	逆走対策 IC・JCT本線合流部 路面標示・矢印表示板・ラバーポール	H31
-------------	------------	--	-----

IC・JCT本線合流部配置図  
S=1:500

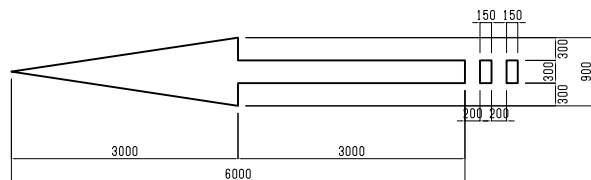
単位：mm

※中央分離帯部の矢印表示板は、4mピッチを基本とするが、現地状況に応じ最大8mピッチまで適用可とする。

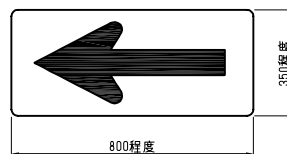


- ※ ランプ部の大型矢印路面標示は、原則、車線の中央部に設置するものとする。
- なお、通行止め(ランプ閉鎖)を伴わない施工及び管理を実施するため、中央部より本線側に寄せて施工してもよいものとする。
- ※ 2車線ランプの場合、大型矢印路面標示は、車線毎に設置するものとする。
- ※ 暫定2車線区間においても、中央分離帯の高輝度矢印表示板を除き上記図面に準じて施工を行うものとする。
- ※ ゼブラ帯のラバーポールにおいて、区画線端からラバーポールまで50cm以上の間隔を開けること。

大型矢印路面標示詳細図  
S=1:100

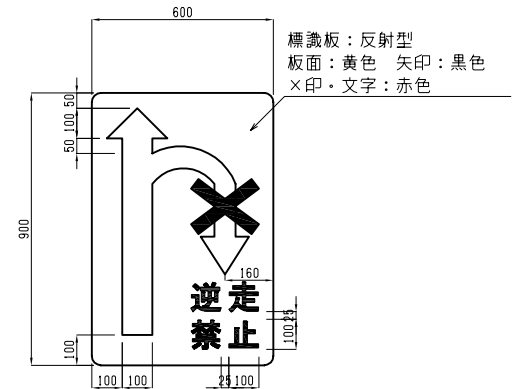


高輝度矢印表示板詳細図  
S=1:25



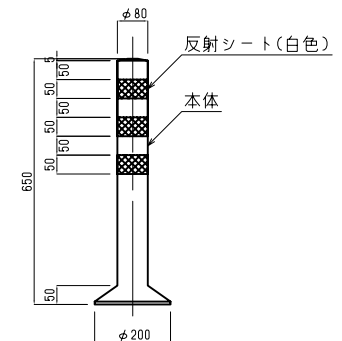
※防護柵貼付タイプ・高輝度反射型以上  
黄色 赤矢印

逆走防止看板詳細図  
S=1:25



※既設標識柱等への添架を基本とする。

ラバーポール詳細図  
S=1:20



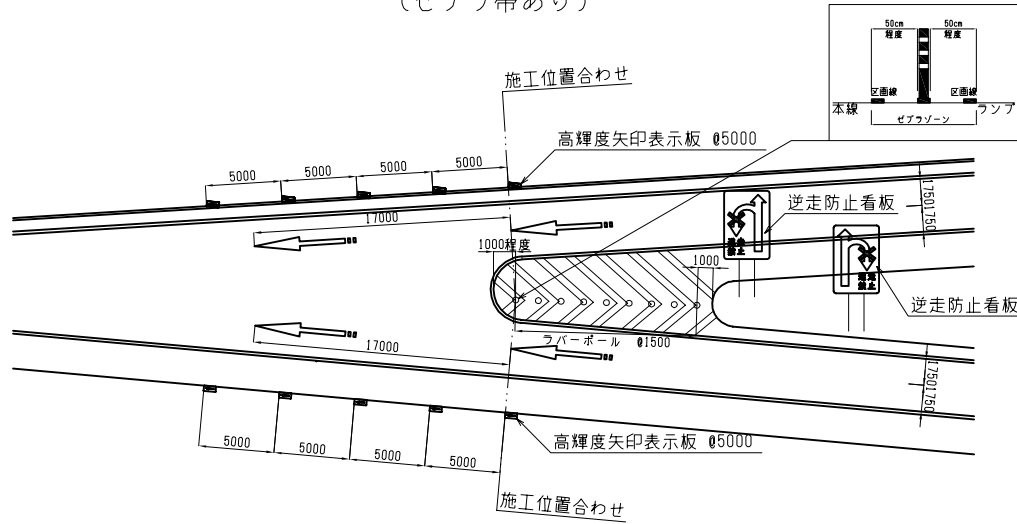
- ※ラバーポールの高さは650mmを標準とする
- ※除雪作業への影響を考慮し、着脱可能タイプとする
- ※本体色は緑を標準とする

高規格	図面記号	逆走対策
幹線道路	名称	インターチェンジOFFランプ合流部 路面標示・矢印表示板・ラバーポール

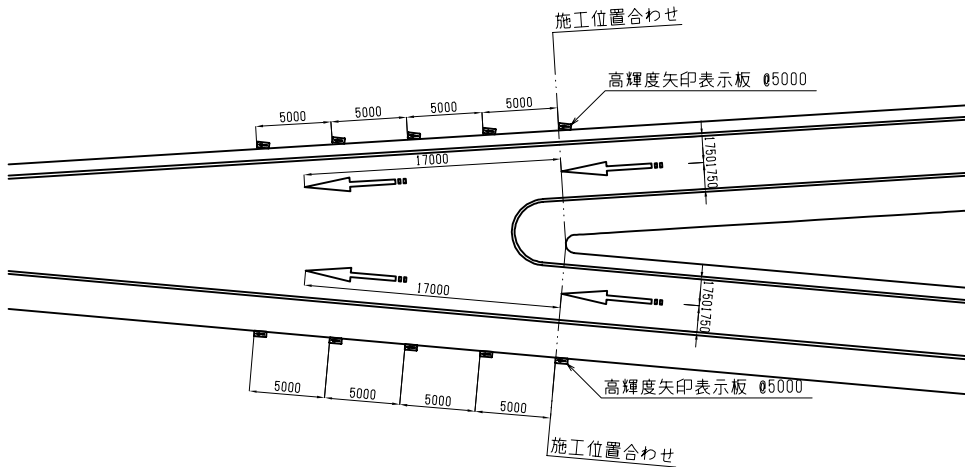
インターチェンジOFFランプ合流部配置図

(ゼブラ帯あり)

S=1:500



(ゼブラ帯なし)

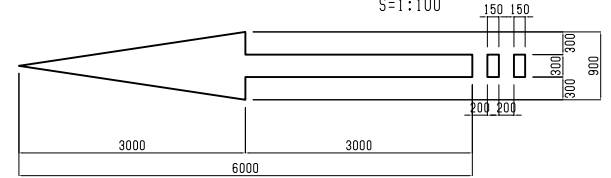


- \* ランプ部の大型矢印路面標示は、原則、車線の中央部に設置するものとする。  
なお、通行止め(ランプ閉鎖)を伴わない施工及び管理を実施するため、中央部より本線側に寄せて施工してもよいものとする。
- \* 2車線ランプの場合、大型矢印路面標示は、車線毎に設置するものとする。
- \* ゼブラ帯のラバーポールにおいて、区画線端からラバーポールまで50cm以上の間隔を開けること。

大型矢印路面標示詳細図

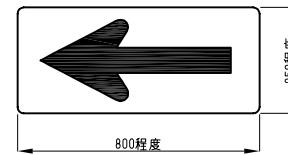
S=1:100

単位：mm



高輝度矢印表示板詳細図

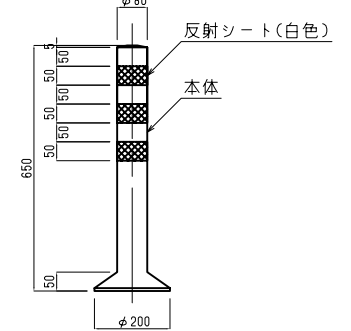
S=1:25



\* 防護柵貼付タイプ・高輝度反射型以上  
黄色 赤矢印

ラバーポール詳細図

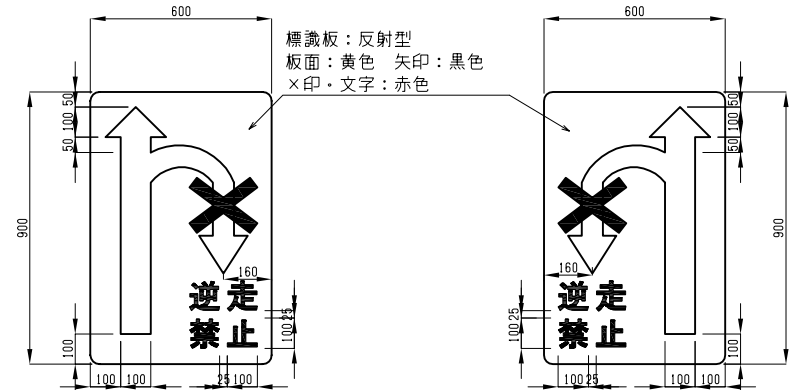
S=1:20



- \* ラバーポールの高さは650mmを標準とする
- \* 除雪作業への影響を考慮し、着脱可能タイプとする
- \* 本体色は緑を標準とする

逆走防止看板詳細図

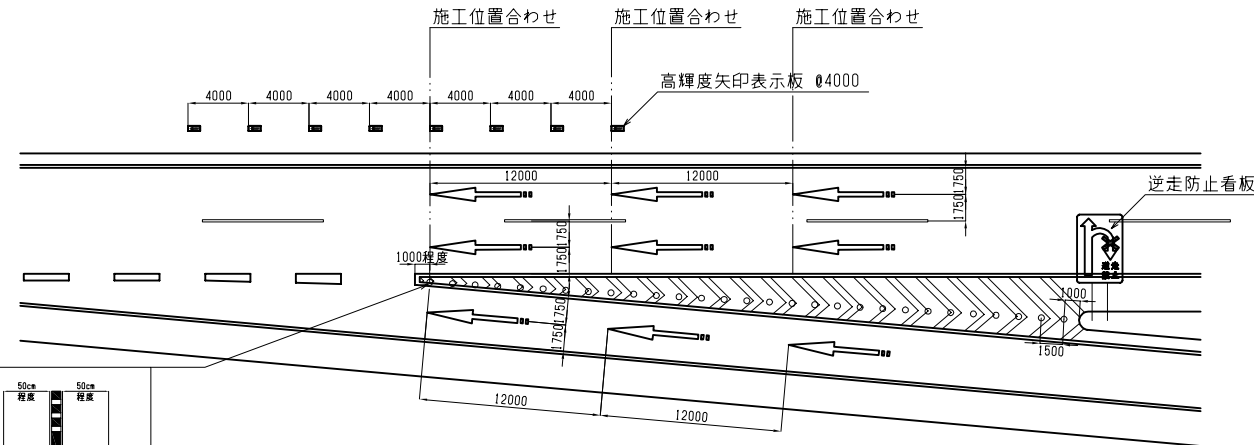
S=1:25



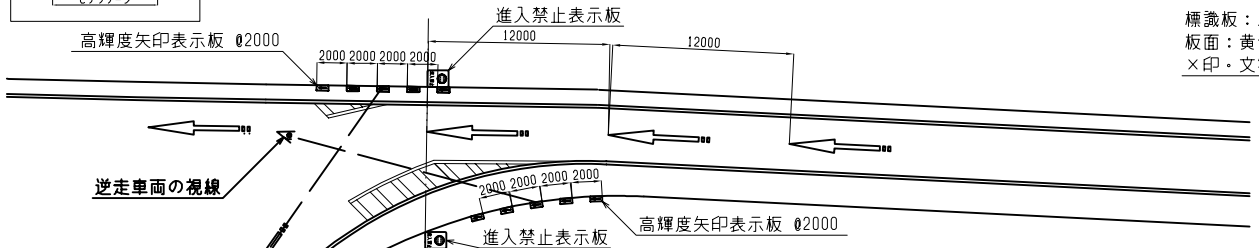
\* 既設標識柱等への添架を基本とする。

休憩施設本線 逆走対策工配置図  
(本線合流部) S=1:500

- ※中央分離帯部の高輝度矢印表示板は、4mピッチを基本とするが、現地状況に応じ最大8mピッチまで適用可とする。
- ※暫定2車線区間においても、中央分離帯の高輝度矢印表示板を除き下記図面に準じて施工を行うものとする。
- ※ゼブラ帯のラバーポールにおいて、区画線端からラバーポールまで50cm以上の間隔を開けること。



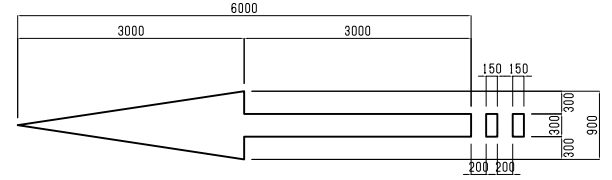
(本線分流部(休憩施設入口部))



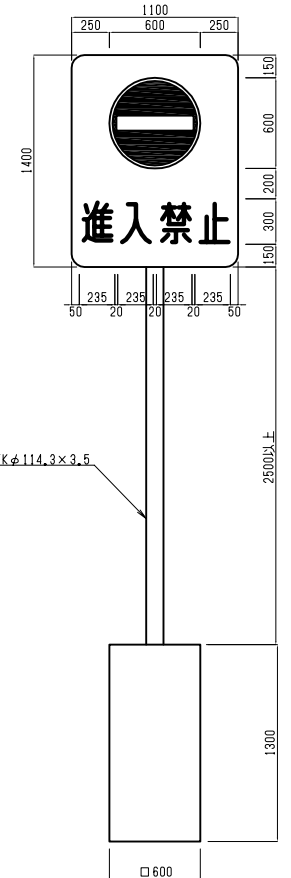
- ※高輝度矢印表示板の設置位置合わせは、逆走車の視線中央に1基とし、さらに両脇に2基ずつ設置するものとする。
- ※ランプ部の大型矢印路面標示は、原則、車線の中央部に設置するものとする。  
なお、通行止め(ランプ閉鎖)を伴わない施工及び管理を実施するため、中央部より本線側に寄せて施工してもよいものとする。
- ※暫定2車線区間においても、中央分離帯の高輝度矢印表示板を除き上記図面に準じて施工を行うものとする。
- ※休憩施設側の大型矢印路面標示の本数は3本を標準とするが、ランプ長が短い休憩施設は現地条件に合わせて施工する。
- ※駐車場接続部の狭さく化(ゼブラ・高輝度矢印表示板等)については、現地状況を踏まえ、位置・規模を勘案して設置するものとする。また、休憩施設内駐車場についても、適宜大型矢印路面標示を設置すること。

高規格	図面記号	逆走対策	H31
幹線道路	名称	休憩施設本線合流部 路面標示・矢印表示板・ラバーポール	

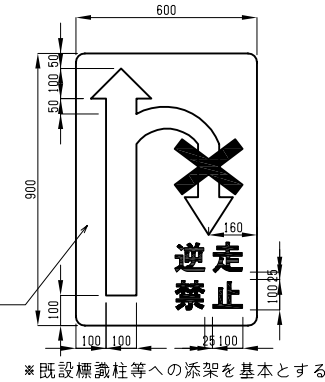
大型矢印路面標示詳細図  
(ランプ合流部) S=1:100



進入禁止表示板詳細図 S=1:50

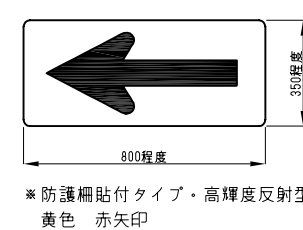


逆走防止看板詳細図 S=1:25



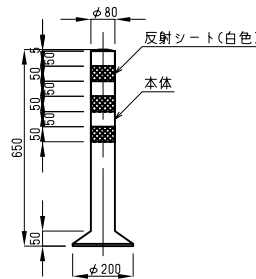
- 標識板：反射型
- 板面：黄色 矢印：黒色
- ×印・文字：赤色

高輝度矢印表示板詳細図 S=1:25



- ※防護柵貼付タイプ・高輝度反射型以上
- 黄色 赤矢印

ラバーポール詳細図 S=1:25

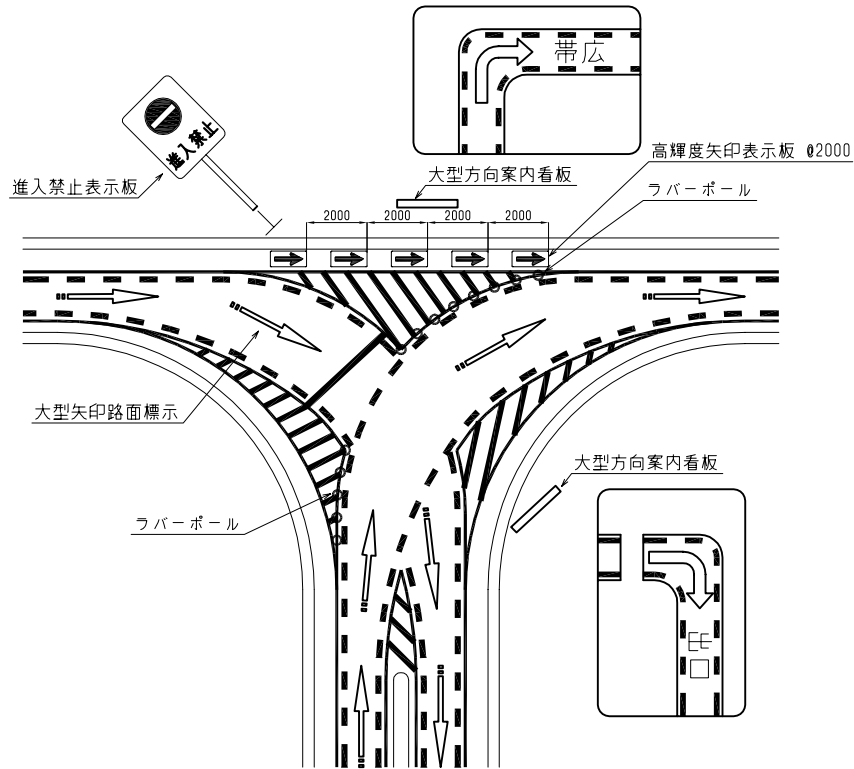


- ※ラバーポールの高さは650mmを標準とする
- ※除雪作業への影響を考慮し、着脱可能タイプとする
- ※本体色は緑を標準とする

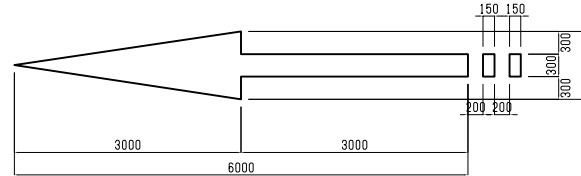
平面Y型IC平面交差部 逆走対策工配置図  
S=1:500

高規格 幹線道路	図面記号 名称	逆走対策 平面Y型IC平面交差部 路面標示・矢印表示板・ラバーポール
-------------	------------	--

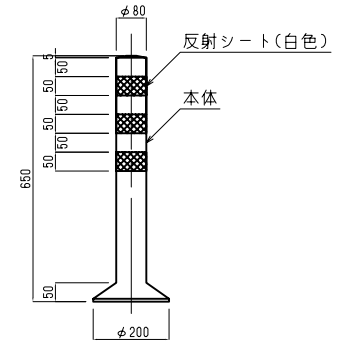
単位：mm



大型矢印路面標示詳細図  
S=1:100

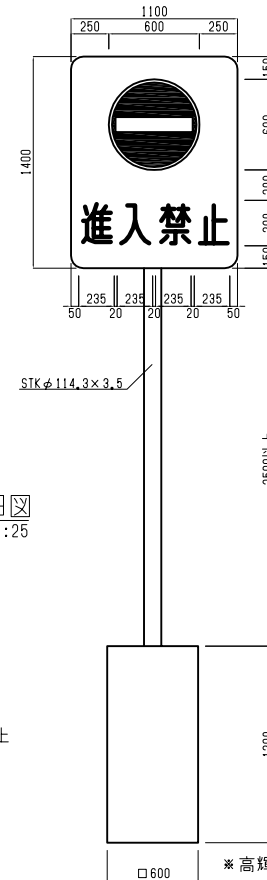


ラバーポール詳細図  
S=1:20

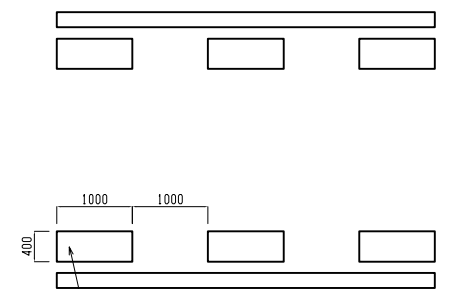


- ※ラバーポールの高さは650mmを標準とする
- ※除雪作業への影響を考慮する場合、着脱可能タイプとする
- ※本体色は橙を標準とする

進入禁止表示板詳細図  
S=1:50



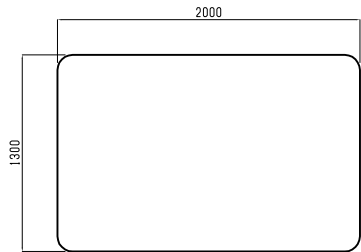
カラー舗装(ドットライン)詳細図  
S=1:100



- ※平面交差部及びその前後50m施工する
- ※外側線から概ね100mm程度離して施工する(現地状況に応じて施工すること)
- ※オンランプ側をオレンジ色、オフランプ側を青色とする

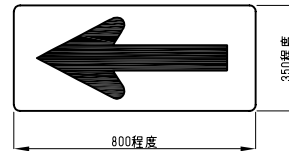
- ※カラー舗装(ドットライン)はオンランプ側をオレンジ色、オフランプ側を青色とする。
- ※大型方向案内看板は「カラー舗装(ドットライン)」と同色の表示をする。

大型方向案内看板  
S=1:50



- ※大型方向案内看板に係る図示の文字(地名)又は記号は、例示とする
- ※支柱・基礎形式は「第2章 一般国道」標-32を参照のこと。

高輝度矢印板(黄色地・赤矢印)詳細図  
S=1:25



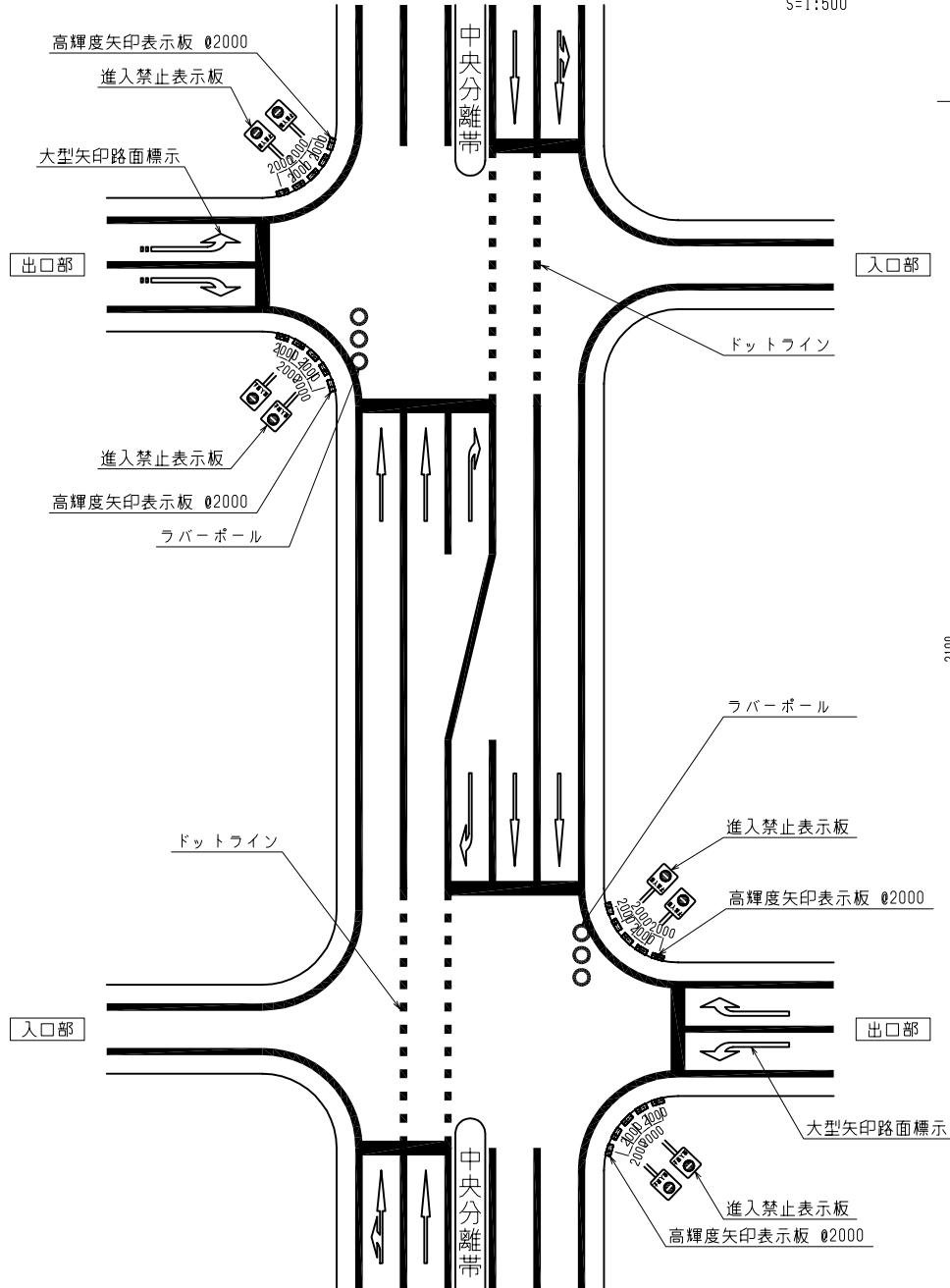
- ※防護柵貼付タイプ・高輝度反射型以上  
黄色 赤矢印

- ※高輝度反射型以上とする
- ※部材規格、設計条件は「第3章 高規格幹線道路」標-80を参照のこと



ダイヤモンド型 I C 出入口部 逆走対策工配置図

S=1:500

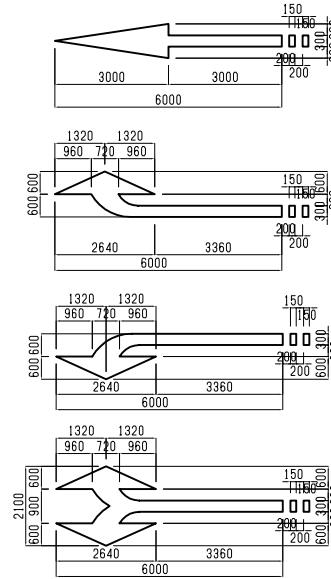


高規格 幹線道路	図面記号 名称	逆走対策 ダイヤモンド型 I C 出入口部 路面標示・矢印表示板・ラバーボール	H31
-------------	------------	---	-----

単位：mm

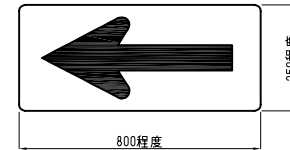
大型矢印路面標示詳細図

S=1:200



高輝度矢印表示板詳細図

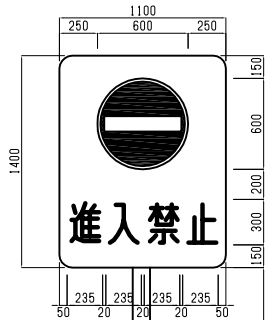
S=1:25



※防護柵貼付タイプ・高輝度反射型以上  
黄色 赤矢印

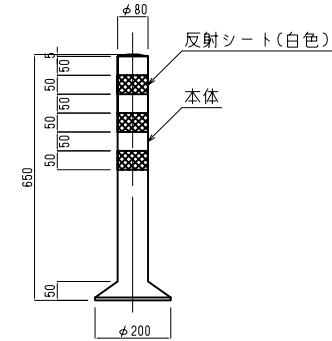
進入禁止表示板詳細図

S=1:50



ラバーボール詳細図

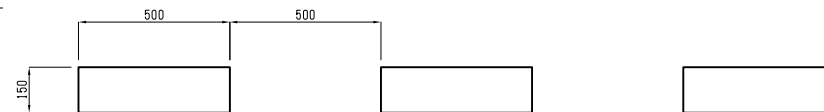
S=1:20



※ラバーボールの高さは650mmを標準とする  
※除雪作業への影響を考慮し、着脱可能タイプとする  
※本体色は橙を標準とする

ドットライン詳細図

S=1:25



※高輝度反射型以上とする  
※部材規格、設計条件は「第3章 高規格幹線道路」標-80を参照のこと

